

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2011-17021(P2011-17021A)

【公開日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-206150(P2010-206150)

【国際特許分類】

C 1 1 D 9/26 (2006.01)

C 1 1 D 9/32 (2006.01)

C 1 1 D 9/34 (2006.01)

C 1 1 D 9/30 (2006.01)

C 1 1 D 9/08 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/03 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 9/26

C 1 1 D 9/32

C 1 1 D 9/34

C 1 1 D 9/30

C 1 1 D 9/08

C 1 1 D 17/08

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/03

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月13日(2010.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a. 容器、少なくとも1種類の酸を含む酸相、少なくとも1種類の石けんを含む石けん相を含み、該石けんおよび酸相が分離されている、押出し可能な多相酸および石けん洗浄組成物を提供する工程；

b. 該多相洗浄組成物を皮膚上に分配し、それにより皮膚と接触する前もしくは後に酸相および石けん相を互いに混合させて遊離脂肪酸を形成する工程；および

c. 遊離脂肪酸を皮膚上に堆積させるのに有効な時間、該組成物をこする工程、を含む、洗浄しながら皮膚上に遊離脂肪酸を堆積させる方法。

【請求項2】

皮膚上の遊離脂肪酸堆積が0.1から1000 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ の範囲にある、請求項1の方法。

【請求項3】

遊離脂肪酸が0.1g脂肪酸/100g洗浄製品を上回る濃度で生じる、請求項1また

は 2 の方法。

【請求項 4】

a . 少なくとも 1 種類の酸を含む酸相をいかなる順序であっても容器に添加する工程 ;
b . 少なくとも 1 種類の石けんを含む石けん相をいかなる順序であっても容器に添加する工程、
を含み ;

c) ここで、酸相および石けん相が分離されている、
安定で押し出し可能な多相水性液体洗浄組成物の製造方法。

【請求項 5】

容器が少なくとも 1 つの酸相および少なくとも 1 つの石けん相で同時に、または連続的に充填され、かつ容器が垂直に、または脈動的様式で充填される、請求項 4 の方法。